

テントを収納する

※各部の名称は裏面の「各部材の名称」を参照してください。

1 ロープ先端に取り付けたペグ、またはパッドに打ち付けたペグをすべて抜き取ります。なお、風対策用品（加重プレート等のオプション品）をご使用の場合、または、ペグと併用してご使用の場合はこれを取り外します。

2 スナップボタン（右図、裏面「各部材の名称」⑯参照）を押して、アウターレグを一番下までスライドさせます。

⚠注意

- アウターレグとインナーレグの連結部で手や指をはさむ恐れがあります。インナーレグに触れないよう、アウターレグの下部（スライダーJ2P [もしくはJ3P] から下）をしっかり持ち、少し持ち上げる要領でスナップボタンを押し込み、ゆっくりと長さを縮めてください。
- バランスを崩してテントが倒れる恐れがあります。アウターレグをスライドさせる際は、必ず一辺に並んだ2本の脚を、同時に縮めてください。※KA/2W、5W、8Wの場合、四隅以外のアウターレグ（中央の2本）から先に縮めてください。

3 天幕へ結んだロープをほどき、天幕内側のゴムフックを外します。

4 四隅の天幕を少しめくり上げ、ロックピン（右図、裏面「各部材の名称」⑰参照）すべてを引いて、ロックを解除してください。

⚠注意

- スライダーJ2PもしくはJ3Pにより手や指をはさむ恐れがあります。しっかりトラスバーを押さえ、ロックを解除してください。

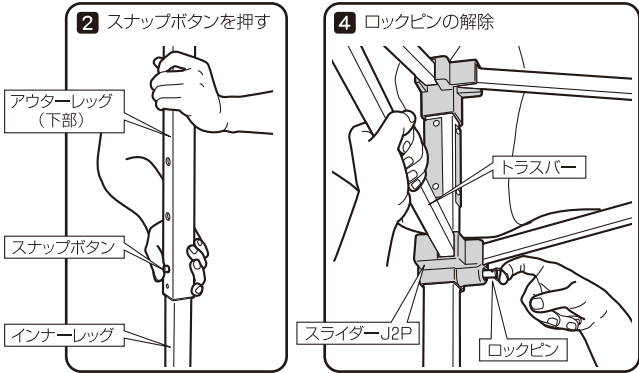
5 マジックテープで固定された部分をすべてはがし、天幕を取り外します。
※天幕は取り外して収納することで、摩耗による傷みも少なくなり長持ちします。

6 トラスバー下側のV字部分を持って、本体フレームを浮かせながらゆっくりと縮めてゆき、最後はアウターレグを持って縮めます。

⚠注意

- トラスバー、アウターレグ等により手や指をはさむ恐れがあります。本体フレームを縮める際は十分に注意を払い、ゆっくりと作業してください。

7 本体フレームは本体収納バック、天幕を天幕収納袋に収納し、付属品の数を確認してください。



メンテナンスについて

1. 使用後は天幕と本体フレームの汚れを落とし、よく乾かしてから収納してください。天幕の汚れがひどくなると美観を損なう上、耐候性・耐久性も悪くなります。また、定期的に中性洗剤の希釈液を使って汚れやクスマを拭き取り、天幕や本体フレームに洗剤が残らないよう濡れ雑巾等で拭き仕上げをしてください（シンナーやアルコール類は素材や生地を傷める原因となるので絶対に使用しないでください）。

2. 塗装部のはがれやサビを発見した場合は、市販の補修用品で早期に塗装、補修を行ってください。

3. ボルト各部やネジ等、緩みがなければ定期的にチェックを行い、緩みを見つけた場合は付属の六角レンチ等で締め付けてください。

4. 天幕などの生地製品は経年劣化してきます。防水効果も低下しますので、市販の防水スプレーや目止剤を使い、定期的に塗布することをお勧めします。また、キズや穴あきがある場合はシーラー剤等を使用して補修を行ってください。天幕単品をお求めの場合は、別途お見積もり致します。詳しくは、お求めになった販売店へお問い合わせください。

保管場所について

●本品を保管の際は、直射日光を避け、雨のあたらないような風通しの良い湿気の少ない場所に保管してください。

仕 様

フ レ ーム	柱部:アルミ角パイプにアルマイトコーティング トラスバー他:スチール角パイプに粉体焼付塗装
ジョイント	グラスファイバー・ナイロン
天 幕 素 材	ポリエステル 〔防水加工（裏面ポリウレタン塗布）、防炎認定、UVカット塗布処理済〕
高 さ 調 整	3段階調整:KA/1W～5W ・ 5段階調整:KA/6W～8W
付 属 品	本体収納バック、天幕収納袋、ペグ、ペグ収納袋、ロープ、六角レンチ
オプション	砂袋（15kg用）、加重プレート（10kg）、ウォーターウェイト（20kg用）、横幕（一方幕）、運搬用ミニ台車

規格	テントサイズ	軒高	全高	収納サイズ	フレーム+天幕重量
KA/1W	1.8×1.8m	192～208cm	277～293cm	24×24×124cm	約18.0kg
KA/1.5W	1.8×2.7m	192～208cm	277～293cm	24×31×124cm	約22.5kg
KA/2W	1.8×3.6m	192～208cm	277～293cm	24×41×124cm	約33.0kg
KA/3W	2.4×2.4m	192～208cm	277～293cm	24×24×124cm	約22.0kg
KA/4W	2.4×3.6m	192～208cm	277～293cm	24×31×124cm	約30.5kg
KA/5W	2.4×4.8m	192～208cm	277～293cm	24×41×124cm	約42.0kg
KA/6W	3.0×3.0m	224～255cm	322～353cm	24×24×153cm	約27.5kg
KA/7W	3.0×4.5m	224～255cm	322～353cm	24×31×153cm	約36.5kg
KA/8W	3.0×6.0m	224～255cm	322～353cm	24×41×153cm	約49.5kg



発売元



本 社 〒550-0012 大 阪 市 西 区 立 売 場 3 - 5 - 2 9 TEL 06 (6541) 3333 FAX 06 (6531) 2323
東 京 本 社 〒272-0142 千 葉 県 市 川 市 欠 真 間 1 - 8 - 2 3 TEL 047 (358) 1151 FAX 047 (358) 7658
札幌営業所 TEL 011 (862) 5901 FAX 011 (862) 1944 福岡営業所 TEL 092 (574) 2050 FAX 092 (574) 2868
仙台営業所 TEL 022 (236) 9395 FAX 022 (236) 8190 埼玉事務所 TEL 048 (669) 3115 FAX 048 (669) 3118
名古屋営業所 TEL 052 (362) 8115 FAX 052 (362) 0217 横浜事務所 TEL 045 (391) 8147 FAX 045 (391) 8117
広島営業所 TEL 082 (239) 1551 FAX 082 (239) 1552
ホームページアドレス http://www.teramoto.co.jp/

取扱説明書

ワンタッチイベントテント

テラモト

KA/1W MZ-590-010-0	KA/1.5W MZ-590-015-0	KA/2W MZ-590-020-0
KA/3W MZ-590-030-0	KA/4W MZ-590-040-0	KA/5W MZ-590-050-0
KA/6W MZ-590-060-0	KA/7W MZ-590-070-0	KA/8W MZ-590-080-0

要保管



梱包内容

- 本体フレーム ……………×1
- 本体収納バック ………×1
- 天幕 ……………×1
- 天幕収納袋 ……………×1
- ペグ ……………×4
（KA/2W・5W・8Wのみ×6）
- ペグ収納袋 ……………×1
- ロープ ……………×4
- 六角レンチ ……………×2

このたびは、本品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書をよくお読みの上、本書に掲げる使用方法に従い、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。また、お読みになった後はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

本品を安全にお使いいただくために、下記の要項を必ずお守りください。

※なお、誤った取扱方法や使用状況、または改造等による破損・損害・事故、および経年劣化等による各部の劣化・損傷・サビや腐食の発生につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

安全上のご注意

● シグナルマークの定義 ●

⚠警告

この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、および物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

● 警告ラベルについて ●

本品のフレームには、右図のような警告ラベルが貼り付けられています。警告ラベルの貼り付け箇所を確認し、要項を守ってご使用ください。また、万一警告ラベルが剥がれてしまった場合は、ラベルをご購入いただき、再度貼り付けてください。

⚠警告

手をはさまないよう注意
開閉時、手をはさむ恐れあり

⚠警告

風にはさまれる恐れあり
開閉時、手をはさむ恐れあり

⚠警告ラベル

使用条件

● 使用環境 ●

⚠警告

(日)大雨、強風、突風、雪、雷などの天候不順時、または設営期間中にそれが予想される場合には危険ですので使用しないでください。テント本体が倒れたり、飛ばされたり、水が溜まる等の恐れがある上、人が傷害を負ったり、物を破損させる原因となります。また、降雪時には雪が積もり倒壊する恐れがありますので使用しないでください。

● 用途 ●

⚠警告

(日)本品を常設用として使用しないでください。本品は、一時的かつ簡易的に使用することを目的とした構造となっているため、常設用として使用した場合、思わぬ事故につながる可能性があります。また、簡易目的用とした構造のため、完全な雨除けとしてはご利用いただけません。縫製部分より水が入る可能性がありますのでご了承ください。

⚠警告

(月)本品を改造したり加工したりしないでください。改造・加工による本体の倒壊や、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。

⚠注意

(火)本品には、絶対登らないでください。また、ぶら下がったり、物を吊したりする等、過度の負担を掛けるような行為はしないでください。倒壊や破損につながり非常に危険です。

● 取り扱い上の注意 ●

⚠警告

(日)設営時にはテントが水平になるように設置し、必ず「ロープ」と「ペグ」、または別売りの「砂袋」「加重プレート」「ウォーターウェイト」等でテント支柱を固定してください。突風による本体の倒壊や、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。

⚠警告

(月)本品を使用の際は、無人で放置しないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠警告

(火)本品に電源や火気類を近づけないでください。フレームには金属を使用しており、感電の危険があります。また、天幕の素材には、難燃性のポリエステルを使用しておりますが、破損や火災発生の原因となります。

⚠警告

(注)ご利用の前に、本取扱説明書をご理解いただいた上で、必ず一度組み立てテストを行ってください。その際、付属品の不足、不良等が発見された場合は、お求めになった販売店へお申し付けください。

⚠警告

(注)設営前に、設営場所が本取扱説明書の使用条件を満たしていることをご確認ください。

⚠警告

(金)設営・収納作業時には、トラス部分（ジャバラ状の骨組み）、スライド部分、ストッパー部分に手や指をはさむ恐れがありますので、作業時は軍手等を着用し、ケガや事故のないよう十分に注意しながら作業を行ってください。

⚠警告

(土)設営・収納作業は安全のため、必ず大人2人以上で行ってください。

⚠注意

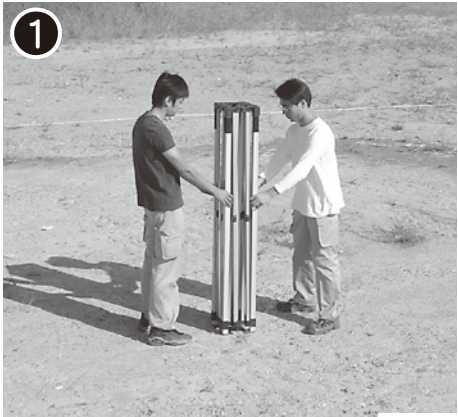
(祭)本品は、鉄・アルミパイプを使用しているため、足元に落としたり、手や指等をはさむと大変危険です。取り扱いには十分ご注意ください。

⚠注意

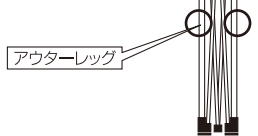
(祝)テントは、たるみがなく「ピン」と張った状態で使用し、天幕に水が溜まらないよう十分に注意してください。天幕に水が溜まると、天幕の寿命を縮める他、フレームが曲がったり、倒壊の危険があります。

テントの組み立て方

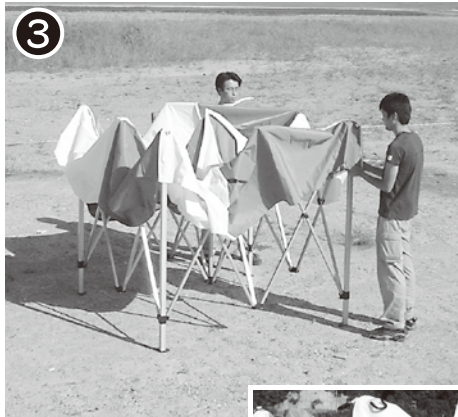
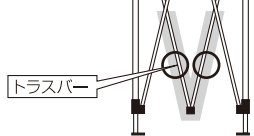
※この写真は「KA/6W」を例に説明しています。テントの大きさや形状に違いはありますが、他の規格品も組み立て手順は同じです。 なお、各部の名称は右下図「各部材の名称」を参照してください。



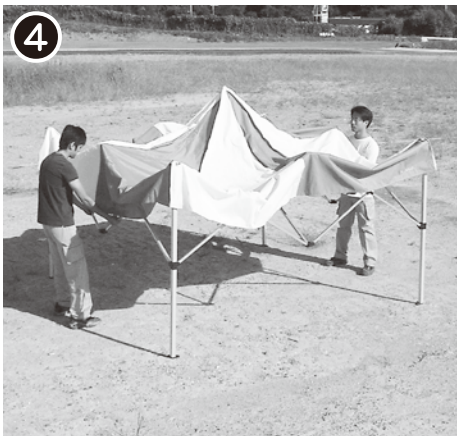
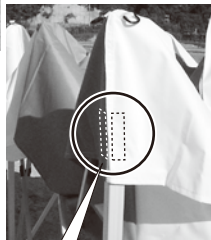
① 四隅のアウトターレッグを持ち、少し浮かせながら左右に広げます。



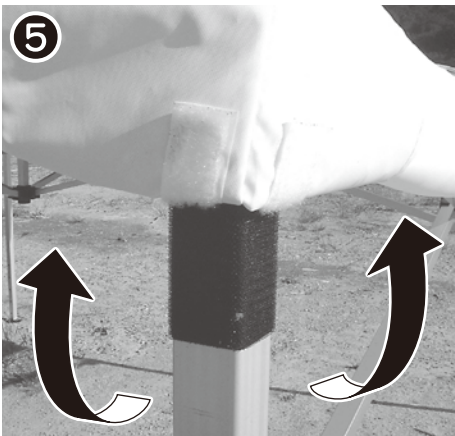
② トラスバー下側のV字部分を持ち上げながら、外側に引っ張り、本体フレームを半ばまで広げます。



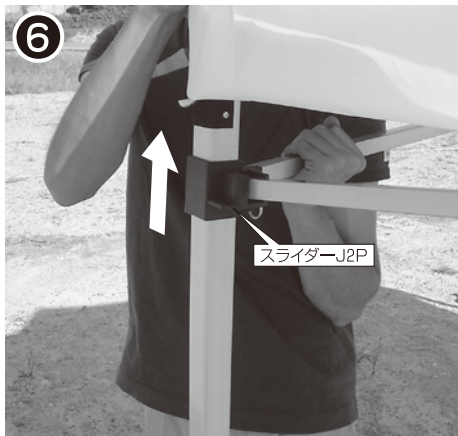
③ 天幕を袋から出し、本体フレームにかぶせ、天幕とアウトターレッグの四隅のマジックテープを合わせます。



④ トラスバー下側のV字部分を持ち上げながら、さらに外側へ引っ張り、本体フレームを最大まで広げます。



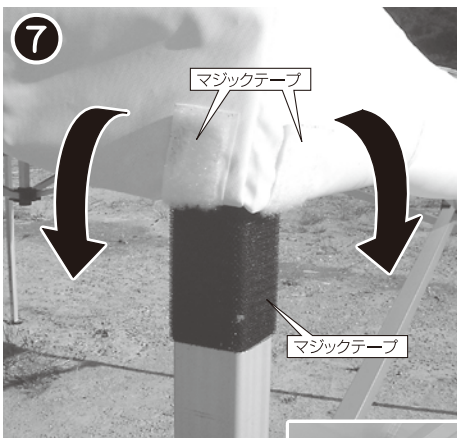
⑤ 四隅の天幕を少しめくり上げます。



⑥ アウトターレッグにあるすべてのスライダー（J2PおよびJ3P）を、「パチン」と音がするまで押し上げます。

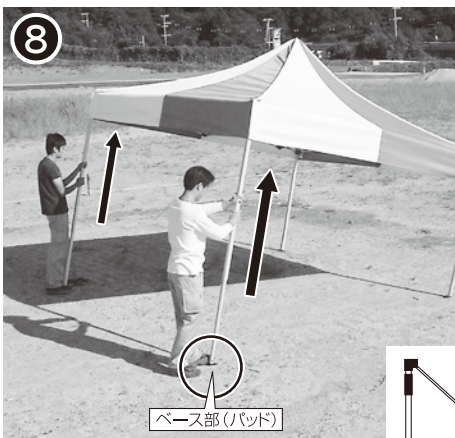
※ロックがかかりにくい場合は、天幕の角を一度外してから押し上げてください。

⚠ 注意 手や指をはさまないようご注意ください。



⑦ でめくり上げた天幕を戻し、天幕とアウトターレッグの四隅のマジックテープを固定させます。

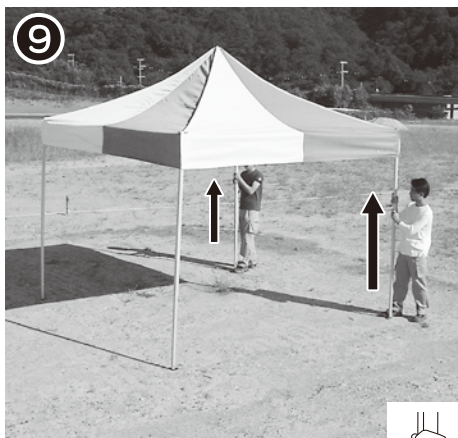
※四隅以外にアウトターレッグが存在する「KA/2W、5W、8W」の場合、中央の2本は、右のようにマジックテープを巻き付けて固定します。



⑧ ベース部（パッド）を足で踏みながら、アウトターレッグの一つ目の穴に「パチン」とボタンが入るまで伸ばします。

⚠ 注意 必ず一辺に並んだ2本のアウトターレッグを同時に持ち上げてください。

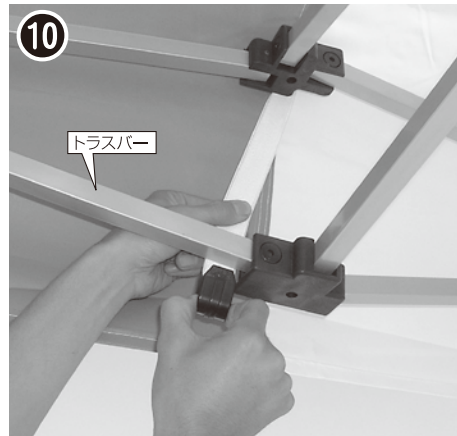
※KA/2W、5W、8Wの場合… 同じく中央2本のアウトターレッグも伸ばします。



⑨ 反対側のアウトターレッグも同様に伸ばします。 ※KA/2W、5W、8Wの場合… 同じく中央2本のアウトターレッグも伸ばします。

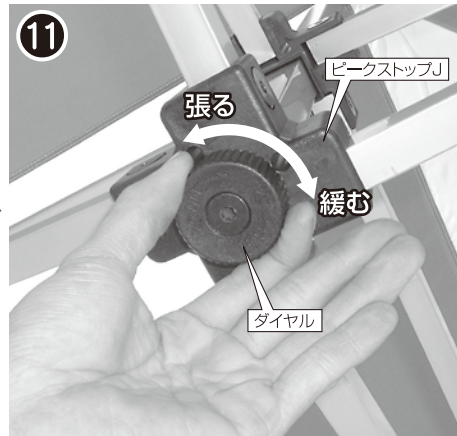
なお、テントの高さは、スナップボタンを押しながらアウトターレッグを持ち上げ、伸ばすことで、3もしくは5段階のお好みの高さに調節することができます。

⚠ 注意 脚はすべて同じ長さ（水平）に揃えてください。



⑩ 天幕の裏側に付いているすべてのゴムフックを、本体フレームのトラスバーに引っ掛けます。

※固定させるゴムフックの数
KA/1W、3W、6W：計4箇所
KA/1.5W、2W、4W、5W、7W、8W：計6箇所



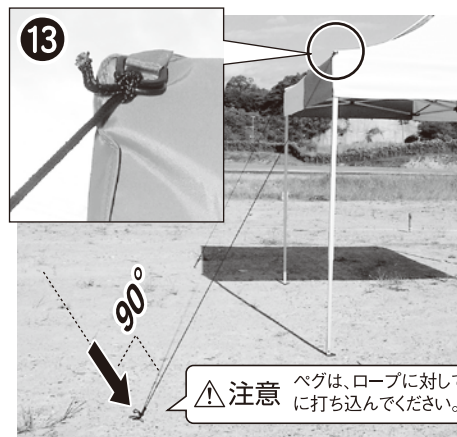
⑪ ピークストップの下に付いているダイヤルを回して、天幕の張り具合を調節します。

⚠ 注意 テントは、たるみがなく「ピン」と張った状態にセッティングしてください。

⑫ ここまで完成した時点で次の事柄を確認し、異常のある場合はテントのご使用を中止してください。また対応につきましては、お求めになった販売店へお問い合わせください。

- 天幕が破れている、フレームが曲がっている等の異常のある箇所はないですか？
※ なお、ボルトが緩んでいる場合は、付属の六角レンチで締め直してください。
- 天幕と本体フレームの、マジックテープの貼り付き具合は弱くないですか？
- 天幕はたるみなく「ピン」と張れていますか？テントに雨水が溜まりそうではありませんか？
- 本体フレームの各ストッパーが、きちんと固定されていますか？

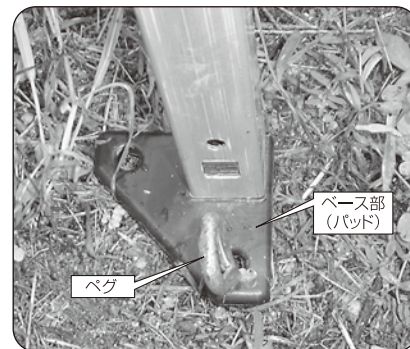
テントを固定する



⑬ 天幕の四隅にあるプラスチックの留め具にしっかりとロープを結び、ベグをテントの対角線上にしっかり根元まで打ち込みます。

※四隅以外にアウトターレッグが存在する「KA/2W、5W、8W」の場合、中央の2本はベース部の穴へ直接ベグを打ちます。

●ロープを張るスペースがない場合

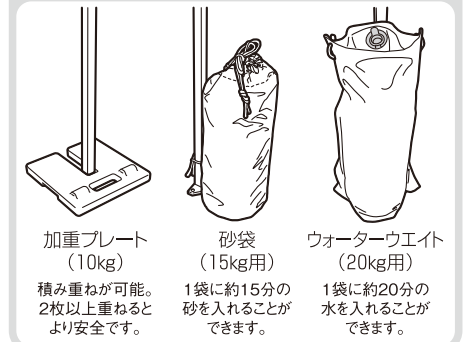


ロープを張れるだけのスペースが無い場合は、ベース部（パッド）の穴に、直接ベグをしっかりと打ち込みます。

⚠ 警告 強風などに煽られ、固定したベグやロープ、ウエイトが外れてしまい事故が起る恐れがあります。風対策用のウエイトを併用した場合でもけて過信はせず、悪天候時や天候の悪化が予想される場合、また突風が起こる可能性のある時は、テントの使用を中止してください。

●固い地面や風対策に…

地面が固くベグを使用できない場合、またベグとの併用で風対策用に、「加重プレート」「砂袋」「ウォーターウエイト」等の別売オプション品をご利用ください。



各部材の名称

